

第15回多可町子ども・子育て会議 記録

| | |
|------|--|
| 日時 | 平成29年10月31日（火） 15:00～16:45 |
| 場所 | 多可町教育委員会 会議室 |
| 参加者 | <p>●委員 出席：鈴木会長、木俣副会長、長谷川委員、安藤委員、松本委員、 数原委員、小林委員、高橋委員、清水谷委員、岡原代理、 上野委員、今中代理、萬浪委員、高見委員、岡本委員 欠席：吉崎委員</p> <p>●事務局 岸原教育長、こども未来課 今中課長、市位</p> |
| 会議内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告事項 保育料算定誤りについて 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成30年度幼稚園・保育所利用者負担額（案）について 2) 通園バス利用促進について 3) 公私連携によるキッズランドの運営（民営化）について <ul style="list-style-type: none"> ・9月定例会の議決を受けて ・今後のスケジュールについて 5. その他 6. 閉会 |
| 資料 | ・第15回多可町子ども・子育て会議資料 |

1. 開会

2. 会長あいさつ

みなさんお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。少し寒くなってきました。第15回目の子ども・子育て会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。まず、はじめに報告事項の1) 保育料算定誤りについて事務局から説明をお願いします。

3. 報告事項

1) 保育料算定誤りについて

【事務局】別紙により概要、今後の対応について説明

平成29年度については対応済。平成27、28年度については議会に報告。10月27日の臨時議会で平成27、28年度の追徴金、還付金及び還付加算金の補正予算をお認めいただいた。11月から順次、保護者等に連絡を取らせていただき速やかに丁寧な対応をしていきます。

【会長】この保育料算定誤りについて委員の皆さんからご質問、ご意見はございますか。

【委員】すみません。今、聞かせていただいたのですがこの保育料算定誤りだけではなく、多可町役場内でしたら交付税の算入誤りといった件もありました。もちろん、ミスした。ミスしたらあかん。絶対なくさないといけない。そのとおりで、二重チェックで機能をはたしていかなくはいけない。もちろんそのとおりであります。しかし、現実、二重チェックしようにも職員も忙しくしていて筒いっばいではないか。そういうふうなことを思います。役場の部署によっては、慢性的に午後10時、11時まで残業している部署もあるように聞きます。今、世の中働き過ぎや残業が多過ぎるということで問題になっていますが、同じことが行政や自治体職員にも言えるのではないかと思います。その辺のところを根本的に考え直さない限りこういうミスは、私はなくならないと思います。時間に追われて二重チェックする間がないから、こういう結果が起こっていると思います。その時間をどこで見つけてくるか。その分、残業してでも見つけるしかないのではないかと思います。その辺のところ、教育委員会だけではないとは思いますが、もう少し人材不足の分は確保するのか、それとも適材適所でもう少し余裕のある部署から回すなど、そういうふうな人事をするのか。抜本的に考えていかないと今の体制のままミスがなくしていくことは、私は無理ではないのかなとそんなふうに思います。そういうことも今後検討していただきたいと思います。

【事務局】管理体制も含めて今後検討してまいりたいと思いますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

【会長】他にご意見ありませんでしょうか。

【委員】特になし。

【会長】還付は言いやすいと思うのですが、追徴は謝罪や丁寧な説明が必要になると思いますので、事務局はご苦労様ですが真摯な対応をしていただきたいと思います。

【事務局】平成29年度については既に処理済ですが、追徴については丁寧な説明をして、ご理解いただかなければなりません。平成27、28年度はこれからの対応になりますので、特に追徴については十分な説明をしていきたいと思ひます。

4. 協議事項

1) 平成30年度幼稚園・保育所等の利用者負担額（案）について

事務局より別紙表（2ページ～4ページ）説明

【会長】利用者負担額としては、平成29年度と同様に4、5歳児無償化ということで、給食費月額3,000円、教材費月額1,000円の実費相当額月額4,000円は徴収するという事です。多子世帯の段階的な緩和策として平成29年度に限り行っていました、満18歳未満の子どもさんが3人おられる家庭で第3子目以降の利用者負担額2/3徴収は廃止するという事です。総額でみると4、5歳児無償化のほうが長い目で見ると保護者としては有利であると思います。さらに、国の保育料が下がったらそれで、下げていくということになります。

今回が平成29年度最後の子ども・子育て会議ですので、国が保育料を下げたら下げていただくということで、委員の皆様方につきましては事後承認という形になると思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。いろいろな国の動きがありますので、国が保育料を下げてくれば下げることで見直していただけたらと思います。

委員の皆様、特に保護者の皆様何かご意見がありましたらお願いします。

【委員】特になし

【会長】何もなければ、続いて「通園バスの利用促進について」事務局より説明をお願いします。

2) 通園バス利用促進について

事務局より別紙表（5ページ～8ページ）説明

【会長】通園バスの利用状況について事務局からの説明が終わりました。平成28年度決算ベースで歳出の運行経費が約3,700万円、歳入のバス使用料が約340万円でかなり開きがあります。運行経費については3年の長期契約、バスリースについては2年の長期契約で金額は固定しています。平成34年度に運行委託、リースの契約更新が同時期になりますので、年数はありますが今からちょっとずつ考えていき、その時期ぐらいまでにどういうバスの運行形態が良いかを皆様と一緒に検討していきたいという趣旨であります。今すぐ通園バスの運行をどうこうするという事ではありません。今後の検討課題にさせていただきたいと思います。できるだけ、利用してもらわないと行政も困られると思いますので。その辺は、保護者の皆様でご検討いただくかそれで、あまりにも通園バス利用者が減って運行経費が高くつくことになった場合は考えていただくか。もし、そうなった場合は町が園にお任せすることも考えられなくもない。ということになっていくかもしれません。現段階で

委員の方で意見がありましたらお願いします。まだ、先の話ではありますが。今日、お越しの方で通園バスを利用されている方がおられましたら、意見を言っていたいただければと思います。

【委員】通園バスがなくなったらすごく困ります。自宅から園に子どもを送っていくと仕事場と反対方向になり、仕事場のほうに戻ることにになりますので、今は通園バスに子どもを乗せてからそのまま仕事に行けるので、私は助かっています。通園バスを利用していないお母さんに理由を聞きましたら、通園バスのバス停まで自動車で行かなくてはいけないので自動車に乗るのであればそれなら、園まで連れて行ったほうがいいから通園バスに乗せないという意見がありました。帰りは働いておられるお母さんがお仕事で通園バスがバス停に着く時間に間に合わなく、迎えは通園バスより遅い時間になるので、通園バスでは帰れない方が多いようです。

【会長】お仕事が終わられる時間が不定期な保護者もおられるので難しいところですね。

【委員】そうですね。丹波市のほうでは、児童が通園バスに乗っても乗らなくても一律月500円を払っている保護者があると聞きました。もし、そうなったらものすごく反対意見がでると個人的には思います。今、貰ってないので。私はそれでも良いと思います。使用している者としては、片道月1,000円ですけれどもありがたいです。別に月1,500円になってもいいかなと思います。それでも使用すると思いますので。

【委員】私の子どもは、帰りだけ使用しています。大変助かっています。

【会長】通園バスはあったほうが良いですし、良いサービスですね。利用されていない保護者の方どうでしょうか。

【委員】そうですね。ただ、下の子どもを出産したときに上の子どもがキッズランドの幼稚園に行っていたときに利用させていただきました。そのときは、非常に助かりました。

【会長】状況によって、必要なときに利用できたら助かるということですね。均等負担と言われるとちょっと厳しいところもあるかもしれませんね。

【委員】そうですね。

【委員】バス停まで送っていかなくてはいけないのであれば、そのまま、園まで直接送っていくほうが良いと思います。それと、私のところは妻の職場がこども園さんのすぐそばにありますので、そこまで行くのであれば通園バスを使わなくても大丈夫かなと思います。

【会長】皆さんの必要度はいろいろさまざまで、通園バスがないところもありますので、通園バスはあったほうが良いといったところでしょうか。

【委員】1回100円とかできるのででしょうか。西脇市のほうは、1回200円とか1回当たりの運賃があるようです。

【会長】徴収が大変でしょうね。負担の公平感とバスの利便性というのでバス停までが遠

いということで大変だなということもあります。運行時間もかなり前の子ども・子育て会議でも議論があったのですが、運行の効率化ということでちょっとバス停は遠くなりますが、バス停を減らさないで効率化という面では難しい。利用者の方には負担をかけるということになりますので、なかなか通園バスを減らすのは難しいですね。年度年度によって状況も変わりますし、こういうことを決めるのは大変だと思います。保護者の要望としては、基本通園バスは運行してほしいのと、利用形態によってずいぶん変わってきますが、利便性と費用負担というのを考慮してほしいということですね。みんなで使いましょうといってもなかなか使えないのが現状でしょうね。交通機関が不便なところですので、つい、自動車で行ける方は自動車を使用されます。

【委員】利用者は300人程度ですが、全体からいうとどのくらいの利用率でしょうか。

【事務局】0～2歳児も含めて保育園等に通っている児童は全体で600人程度ですので、利用率は約50%になります。ただし、2歳になった翌日から通園バスの利用が可能になります。毎年、通園バスを利用される率は下がっています。

【委員】これから、子どもの数も減っていきますので。

【会長】年度毎に園に通う児童の総数も変わってきますので。だんだん、難しくなってくると思いますが。だからといって、通園バスの運行を止めてしまう訳にはいきませんので。本当にいろいろ考えていかないといけないと思います。さしあたり、大丈夫ですね。この3年間は。

【事務局】はい、そう思っております。

【会長】運営上、町がするのか園がするのかという問題はありますが。もう少し考える時間がありますね。

【委員】キッズランドかみが建設されるときに、これまで通っていた園が遠くなる児童もおられますので、通園バスは町で運行します。と言われておられました。旧八千代町時代もそうだったと聞いております。当初は、それでスタートしております。実際、利用者は減ってきているのは事実ではあるとは思いますが、通園バスについては町が運営するというで始まっているところが大前提だと思います。それと、これから民営化したときに通園バスを町が運行しないという意見もあったようですが、民営化後も通園バスは町が運行しますということで、説明があった経過もあると思います。民営化後すぐは町で通園バスは運行しますが、3年後には町で運行しない。ということになると、当初、説明を聞いたことと違ってくるのではないかという気はするのですが。利用者の数のこともあると思いますが、住民からするとそういう感情になるのではないかと思います。とは、いうものの大きな金額ですので、運行経費を下げっていくことも考えていかななくてはならないとも思います。そうするには、利用者の少ない地域は、小型バスやワゴン車を何台か入れてするとかも考えられます。最近、小中学校も物騒ですので、一掃スクールバスを運行するというこ

とを考えてはどうでしょうか。そうすると、別々のバスを使うことになるかもしれませんが、人件費としては同じ人を使うことになりしますので増えないと思います。一番費用がかかるのは人件費になると思いますので、町全体として有効活用していくことが考えられなくはないでしょうか。八千代区は小学校も統合になりましたし、ひょっとしたらこれから、中学校も統合しなければいけないとか。そのようなことになってきたり、他区も小学校の統合になった場合スクールバスの運行という意見も一段とでてくると思います。部活のことを考えたりしますと夜も早く帰らなくてはいけないし、そうすると安全のためにもそういうことも考えていかななくてはならないと思います。そういうことも、一度検討いただいたらと思います。

【会長】小中学校のバス通学のお話がありました。小林委員、将来的なところはいかがでしょうか。

【委員】まあ、少子化ですので方向としては間違っていないと思いますが、小学校も中学校もとなると町も大変だと思います。少子化でそれがうまく運営できるのであれば、それも一つの方法としては検討に値するのではないかと思います。

【会長】それも、考えられなくもないということで。保育園児だけではなく、大きな範囲で少しずつそういうことも考えておかななくてはいけないと思います。

【委員】さっきもお話でしたが、通園バスの乗る場所が自宅から離れていたら利用しにくいし、自宅の近くに停まってくれるのであれば喜んでバスに乗りますということになると思います。

【会長】そうすると、運行ルートを決めるのに大変だと思いますね。そういうことも含めて、児童、生徒さんが安全かつ楽しく通園、通学できたらいいと思います。また、歩くということも大事なことになるので、それも含めて考えていかななくてはいけないと思います。簡単には結論がでないと思いますので、統合や民間になって通園バスがなくなるとはいけませんので、それを検討する一番大きな柱として考えていただいてそれと運行費用については、少し圧縮するように考えていただきますようお願いいたします。

【委員】園としては、通園バスは非常に助かっています。いろんな活動で出かけることがあります。町内のいろんな所に気やすく行けますのでありがたいです。特に夏場は、町民プールには毎日行っています。そのようなときに利用する児童については、利用料金を負担いただくことがあっても良いのではないかなと思います。先程もありましたように、全園児から料金をいただいているところもあると言われておられましたので、こういう形で利用したりしますので、そういう部分では徴収してもおかしくはないかなと思います。

【会長】通園には使っていないけれども、実際の活動のところで使っていることで、その活動の費用ということで料金を徴収しても良いのかなと思います。それでしたら実際使っておられますので、その部分だけでしたら納得が得られるのではないでしょ

うか。そういうことも含めて、長い目で見て検討していただきたいと思います。通園以外の活動にも使用できるように一諸に契約をされておられますので、そのあたりはありがたいと思います。さっきも5歳児教育共通カリキュラム作成検討会議で自然にふれるということで行きたいところがあれば、町の通園バスを使わせてもらっているという意見もありましたので、有効に使われておられると思いました。是非とも続けていけたらと思います。

【会長】続きまして、公私連携によるキッズランドの運営（民営化）について事務局より説明をお願いします。

（3）公私連携によるキッズランドの運営（民営化）について

事務局より別紙にて説明（9ページ）

【会長】ありがとうございました。着々と進行しております。何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

【副会長】栄養士のお話がありました。今、かみもやちよも栄養士としての採用はない状態だと思います。それを、調理士が栄養士の免許を持っていても栄養士ではない採用だったと思うのですが。それが、どうしてここに上がってきているのか。

それから、最終引き継ぎ保育のときの町からの2名の派遣ですが、派遣が終わる2年後に定年が近い方であればそれでも良いと思いますが、2年の派遣終了後、役場の一般職に戻れるのか。

それと、保護者説明会が設置されるかと思うのですが、具体的な月や回数であったり、保護者、法人、町という部分がありますが、子ども・子育て会議の委員については、この会議に入ることやお話だけでも聞けるのか。

また、職員の意向調査表の回収を10月13日でされておられます。その、大まかな内容をお聞かせいただくわけにはいかないのでしょうか。保護者の方にとっては今の職員がそのまま残ってくださったら安心やなという思いが強いかなと思います。いやいや、もう違う園に行ってしまうとなると、ちょっと悲しいやら不安に保護者が思われるところがあると思いますので。その辺のところをお聞かせしていただけたらと思います。

【事務局】順番に回答させていただきます。まず、栄養士ですが現在、キッズランドかみ、やちよも栄養士としては採用いたしておりません。調理員さんとして3名ずつお世話になっています。ただ、キッズランドかみには、栄養士の資格を持たれた方が調理員としておられます。今回、栄養士をかみとやちよに配置していただくことについては、これまで、子ども・子育て会議で公私連携による運営実施計画という計画書をまとめていただきました。その中で、両園に栄養士を配置するという項目を謳っていただきました。ということで、運営法人を募集する際に栄養士は必ず配置ということをお条件にしておりましたので、これは、必然的に両園とも栄養士を1名ず

つ配置をしていただくことで調整しています。

続いて、引き継ぎ保育2名町から2年間ということですが、これについても運営実施計画の中で、2年間は引き継ぎ保育が必要だろうということで、2名を2年間派遣することを決めていただいたところです。ちょうど、2年間派遣をされて定年になられる職員は1名であります。ほとんどの方は、年数が残っております。その職員は、当然2年間の派遣後すぐ役場の一般事務職に異動していただくことで進めさせていただきます予定です。

保護者説明会の開催については、いつごろに開催するのがよいのか。ということをも十分内部で調整をして、また、園、保護者会とも相談しながら進めさせていきたいと思っております。

三者懇談会については、保護者、法人、町で作る会議ですが、これは、来年4月以降早急に作らなければいけないと思っております。保護者会からは正副会長さんになるのかはわかりませんが、最低2、3名は委員になっていただきたいと思っております。今後の合同保育や引き継ぎ保育のことなど、それから、保護者への対応また、保育の内容等につきましても十分ご相談しながら進めさせていただきたいと思っております。

職員の意向調査表の回収の結果ですが、正規職員、嘱託保育士、調理員、臨時職員の全職員のみなさん方から回答をいただきました。正規職員の方については、キッズランドからはいなくなれますので、その部分は抜いて、嘱託保育士、調理員の方については、ほとんど100%に近いお方が正規での採用を希望されています。法人の正規職員でがんばります。という方がほとんどでありました。ただ、60歳を超えておられる方については、年齢的にしんどいのでパートで希望しますという方や若い女性の保育士さんでご結婚が決まったので退職させていただきたいという方が1、2名おられましたけれども、ほとんどの方が引き続きキッズランドで頑張りたいと書いていただいておりますので、その点をご安心をいただきたいと思えます。以上でございます。

【会長】 順調に進んでいるということですね。

【委員】 パートの方が正規職員を希望されているということですが、かみかやちよか選べるということですか。

【事務局】 そうなんです。今、かみにおられる職員の方、やちよにおられる職員の方、基本的には今おられるところに残っていただきたいという調整をしたいと思っております。ただ、例えば、かみの職員で加西市等、多可町より南から来ていただいている職員がおられるので、この際、ちょっと遠いからやちよに換わりたいとか、今、やちよの職員でキッズランドかみに子どもさんがおられて、子どもが卒園したら、住んでいる所が加美区であるので、かみに換わりたい。など、いろいろなケースがございますので、その辺の希望を聞きながら、調整をさせていただきたいと思っております。

ります。

【会長】そうはいいましても、調整は大変だと思いますけれども、うまく調整していただいて、順調に平成31年の民営化が開始できるように努力をしていただきたいと思います。どうかよろしくをお願いします。何かご質問ございませんか。特にないようですので、教育長何かありましたら一言をお願いします。

【教育長】小学校で研究会がありましたので少し遅れました。申し訳ありません。先ほどは慎重に審議をしていただきまして、ありがとうございます。子ども・子育て会議も第15回目を数えまして、会議の冒頭に課長から保育料の算定誤りということで、経過説明、謝罪をしたと思いますが、今回、保護者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。また、園のほうにもご心配をかけ本当に申し訳ありません。平成29年度の保育料の算定の誤りがわかりましたので、それぞれのご家庭に赴いて謝罪をして対応をさせていただきました。平成29年度については、10月13日の段階ですべて還付、徴収とも終わりました。保育料は過去5年間に遡って還付等ができますので、平成27年、28年度分について精査をし、集計ができましたので議会の承認を得て、早急に還付、追徴を行っていきます。

謝罪をして丁寧な説明をして対処していきたいと考えています。通知した保育料の金額については、みなさん信用して払っていただいていると思いますので、間違いはあってはならないことで、信頼をなくす行為です。2度とこのようなことが起こらないように職員の研修を充実させ、職員の力量アップに努めるとともに、二重チェックをしてやっていきたいと思います。そして、保育料の算定はこういうふうには算定しておりますということを、入所説明会のときに今まで以上に詳しい説明をさせていただきます。本当にご迷惑をかけて申し訳ございません。再発防止と信頼回復に向け、教育委員会が一丸となって取り組んでいきますので、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

【会長】迅速に対応されているということですので、対象者の方も納得されるのではないかなと思います。将来的に徴収がまったくなくなるように国の保育料無償化施策も順調に進んで、みなさんの負担が少しでも軽くなれないかなと思います。そのときには、いろいろと考えることもあって大変だとは思いますが、よろしくお願いたしたいと思います。ありがとうございます。それでは、みなさま何かご意見がありましたら、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。では、特に意見がないようですので、これで終わらせていただきたいと思います。閉会のことばを木俣副会長をお願いします。

【副会長】それでは、本日は、第15回目の子ども・子育て会議で今年度はこれで終わりのようです。先程の通園バスの件ですけれども、私たちはすぐに通園バスの利用額の負担を増やすのは難しいと思っています。私が思うのにはハード面ではなしにソフト面で親子のふれあいであったり、家からバス停までの間の自然の変化であった

り、四季折々の草花であったり、そのようなものに親子でふれあいながらバス停まで行く、本当のソフト面でのことが各家庭で親、子どもにわかってもらえたらいいなと思います。その辺は、町ではなくて各園の所長さんや園長さんかなと思ったりするのですが、そういったところの親子のふれあいであったり、それが子どもの育ちにプラスになったら良いなと思います。通園バスの料金は町にとっては大変なことだとは思いますが、そういうことも考えて所長さんや園長さんがそういったことを少しでも考えていただいて、園内でプラスになる方向に進めていただけたらありがたいと思います。これは、即実行ということにはならないとは思いますが、お願いしたいと思ったりしております。今日は少し寒さも増している中、ありがとうございました。次回は来年になるかと思いますがよろしくお願いします。